

スポーツ医学概論

科目ナンバー 7B211
専門基礎 選択 2単位

庄司 智則

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は講義形式にて行われ、「スポーツ医学とは」の大きな枠組みから始まり、各項目についても総論的な話を中心に進めていきますが、アスレティックトレーナーとしての現場での活動や大会への帯同など具体的な話も適宜入れ、現場を意識できる内容となります。

この授業では主にディプロマポリシー1に関する知識の修得およびスポーツに携わる人間としての倫理観の涵養をめざします。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は整形外科において業務に携わっており、授業では、接骨院での実例や実体験、課題などを題材とした講義、実習を行います。

2. 授業の到達目標

スポーツ現場に携わる人間として、最低限知っておかなければならないスポーツ医科学の知識を習得します。

具体的には、以下の点を到達目標とします。

- ①スポーツ医学の概念および発展について正しい知識を有している。
- ②アンチドーピングを含めたアスリートに対する健康管理について正しい知識を有している。
- ③スポーツ現場における救急処置について正しい知識を有している。
- ④スポーツに伴う運動器疾患、内科的問題について正しい知識を有している。

また、授業時の質問に対してグループディスカッションやペアワークを行うことにより、プレゼンテーション能力を身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

①授業内課題(30%)、②期末の筆記試験(70%)

①、②の合計点で60点以上を合格とします。

中間アンケートの結果をもとに、全体に対するフィードバックを行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

(参考図書)

財団法人日本スポーツ協会・公認スポーツ指導者養成テキスト:共通科目Ⅰ

財団法人日本スポーツ協会・公認スポーツ指導者養成テキスト:共通科目Ⅲ

5. 準備学修の内容

内容が多岐にわたるため、予習・復習を行ってください。

予め、各回の授業前には1.5時間程、次回授業予定の配布資料を読み、キーワードの意味を調べてください。

授業後には復習として1.5時間程、授業内容について資料を見ずに、自分の言葉で説明できるようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション,スポーツ医学とは
- 【第2回】 スポーツと健康
- 【第3回】 救急処置
- 【第4回】 アスリートの健康管理
- 【第5回】 アスリートの内科的障害と対策
- 【第6回】 アスリートの外傷・障害と対策1(総論,脊柱)
- 【第7回】 アスリートの外傷・障害と対策2(上肢)
- 【第8回】 アスリートの外傷・障害と対策3(下肢)
- 【第9回】 アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画
- 【第10回】 コンディショニングの手法1(ストレッチ,テーピング)
- 【第11回】 コンディショニングの手法2(アイシング,マッサージなど)
- 【第12回】 スポーツによる精神障害と対策
- 【第13回】 特殊環境下での対応
- 【第14回】 アンチドーピング
- 【第15回】 試験とまとめ
※上記の内容を中心に構成しますが、時間(時限)の配分は適宜調整しながら進めます。